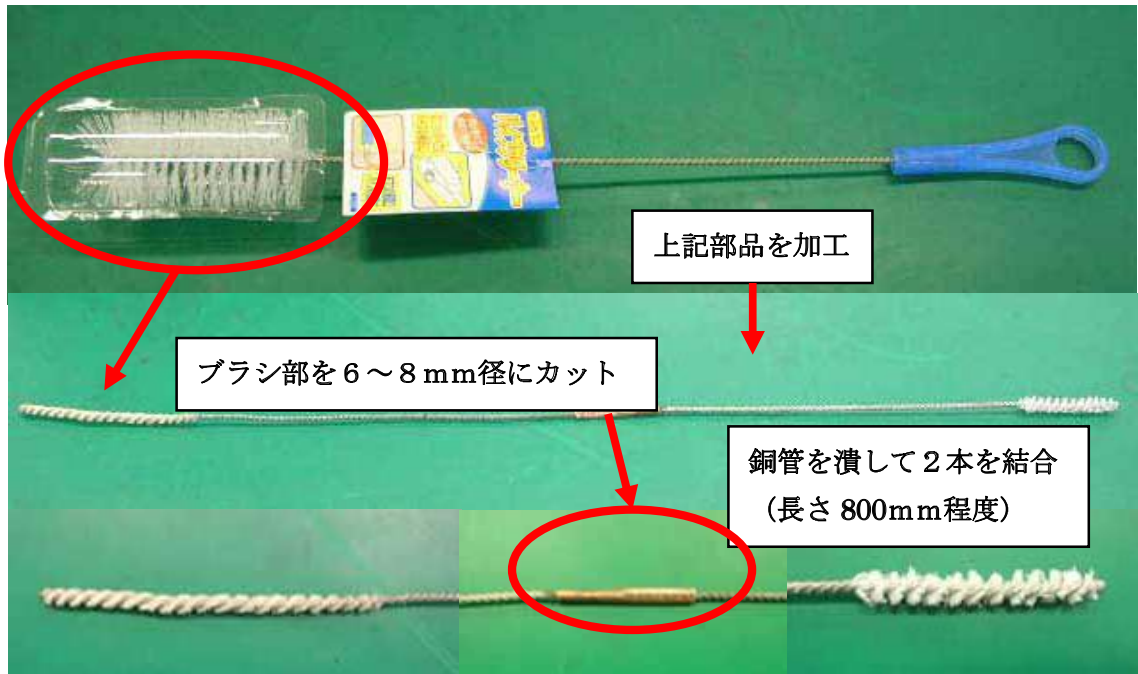


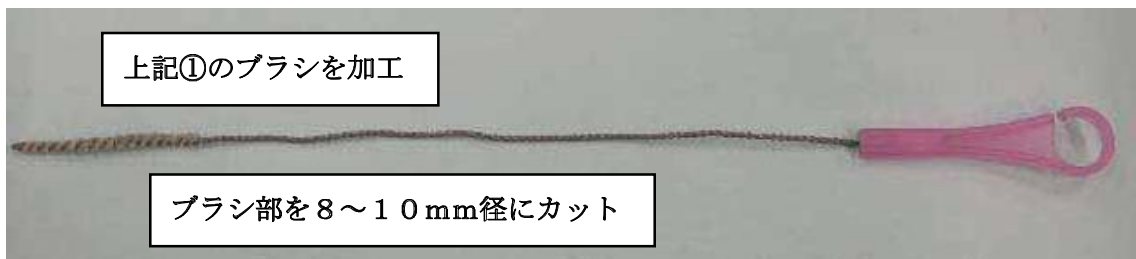
メディサームⅡ タンク内洗浄手順

【 洗浄工具例 】

- ① ブラシ：ホームセンター又は百円均一の店で購入可能



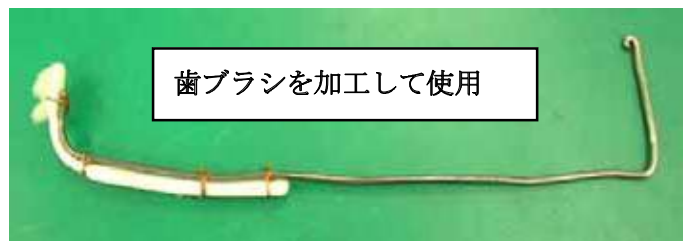
- ② ブラシ：ホームセンター又は百円均一の店で購入可能



- ③ スポンジ



- ④ ブラシ



- ⑤ メクラ栓 : 径 15mm弱のテーパーゴム栓、又は類似品



- ⑥ メクラ栓 : 径 8 mm弱のテーパー栓、又は市販コーキング材等の付属品でも可 (2個)



- ⑦ ホース : チューブ黒 (細い) C/N 03907730 R/N80366000 長さ 50 c m程度
又は、市販の内径 8mmのホース



- ⑧ タオル



見本

【 タンク内洗浄工具使用例 】

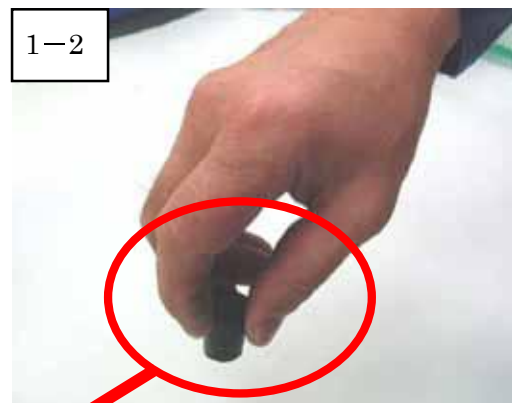


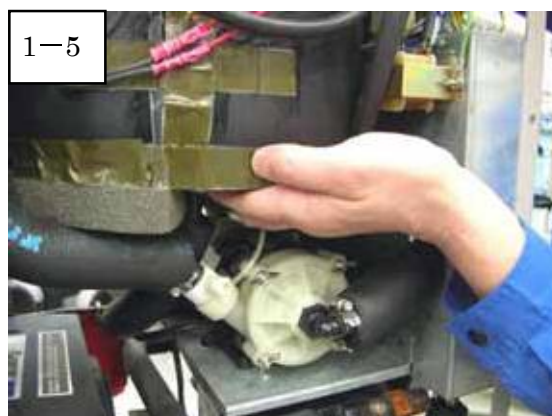
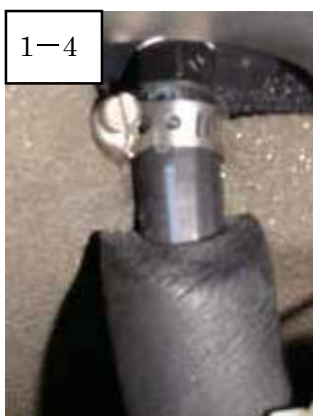
タンク洗浄前 (例)

1. メクラ栓をする。

- 1) ⑤のメクラ栓をタンク (写真 1-1 丸印) に挿入する。(写真 1-2, 1-3 参照)

※ 継手部 (写真 1-4) はプラスチック板が接着材で貼ってあるだけなのでタンク底 (継手ホース部) を押さえながらメクラ栓を挿入する。(写真 1-5 参照)





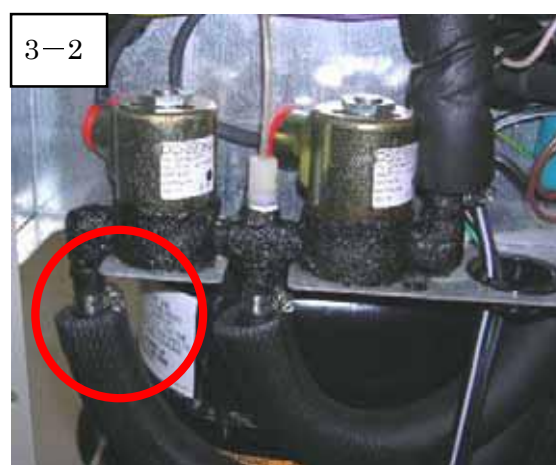
2. 水位レベルセンサー取り外し

- 1) 水位レベルセンサー固定用のナットを外す。その際内部シャフトを押さえながら外し、フリーにした上でエバポレータ部に引っ掛けて置く。(写真 2-1, 2-2 参照)

見本

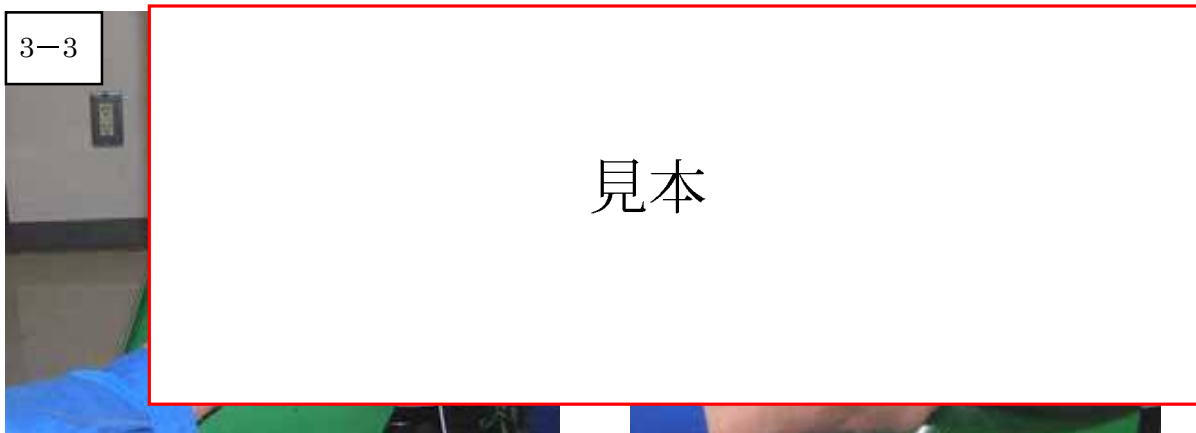
3. ソレノイドバルブホースを外す。

- 1) ソレノイドバルブ下側に水受け（下敷き等）及び⑩のバケツをセットする。
(写真 3-1 参照)



- 2) ソレノイドバルブ冷却側（写真 3-2 丸印）のホースバンドを緩める。

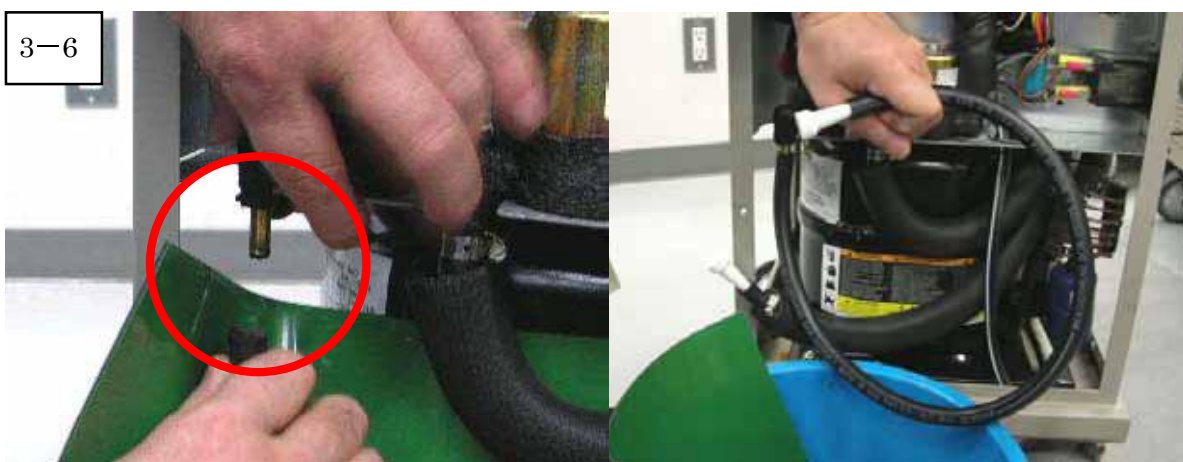
- 3) ソレノイドバルブ冷却側ホースを外し、⑥のメクラ栓を挿入する。
(写真 3-3, 3-4 参照)



- 4) ⑦のホースに⑥のメクラ栓を挿入する。(写真 3-5 参照)



- 5) 4) でメクラ栓をしたホースの開放側をソレノイドバルブ (写真 3-6 丸印) に挿入する。



4. タンク洗浄1

- 1) ⑨のホースを蛇口に繋ぎタンク内 1/3 程度まで水を溜める。(写真 4-1, 4-2 参照)



- 2) ④のブラシでタンク隅を洗浄し、タンク底部も洗浄する。(写真 4-3 参照)

※ その際、出来る限りエバポレータを動かさない様に注意し洗浄する。動かすすぎると破損の恐れあり修理不能になってしまう事があるので注意。

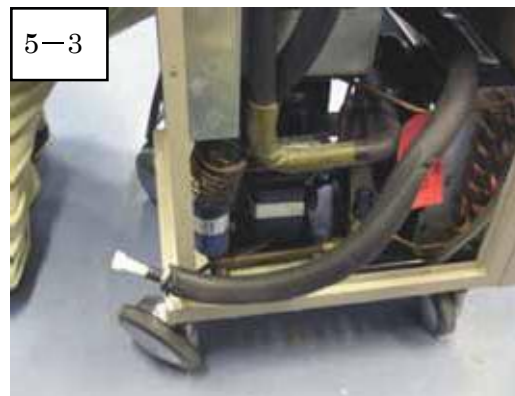


5. タンク、ソレノイド間ホース引き廻し (排水)

- 1) タンク、ソレノイド間ホース (写真 5-1 丸印) のホースバンドを緩める。



2) タンク、ソレノイド間ホースを引き出す。(写真 5-2, 5-3 参照)



3) タンク、ソレノイド間ホースのニップル (写真 5-4 丸印) に 14mm スパナ (モンキー) を使用し、ニップルが廻らない様に注意しながらホースを循環水ポンプ側に引き出す。(写真 5-5 参照)

※ ホース引出しの時、ニップルが廻ってしまうと、ニップル部より水漏れの原因になるのでホース単独で廻る様にする事。(特にホースを戻す時に注意する。)

見本



4) 3) で引き出したホースからメクラ栓を外し、タンク内の水をバケツに排出する。排出後、再度メクラ栓を挿入して置く。(写真 5-6 参照)



6. ラバー洗浄

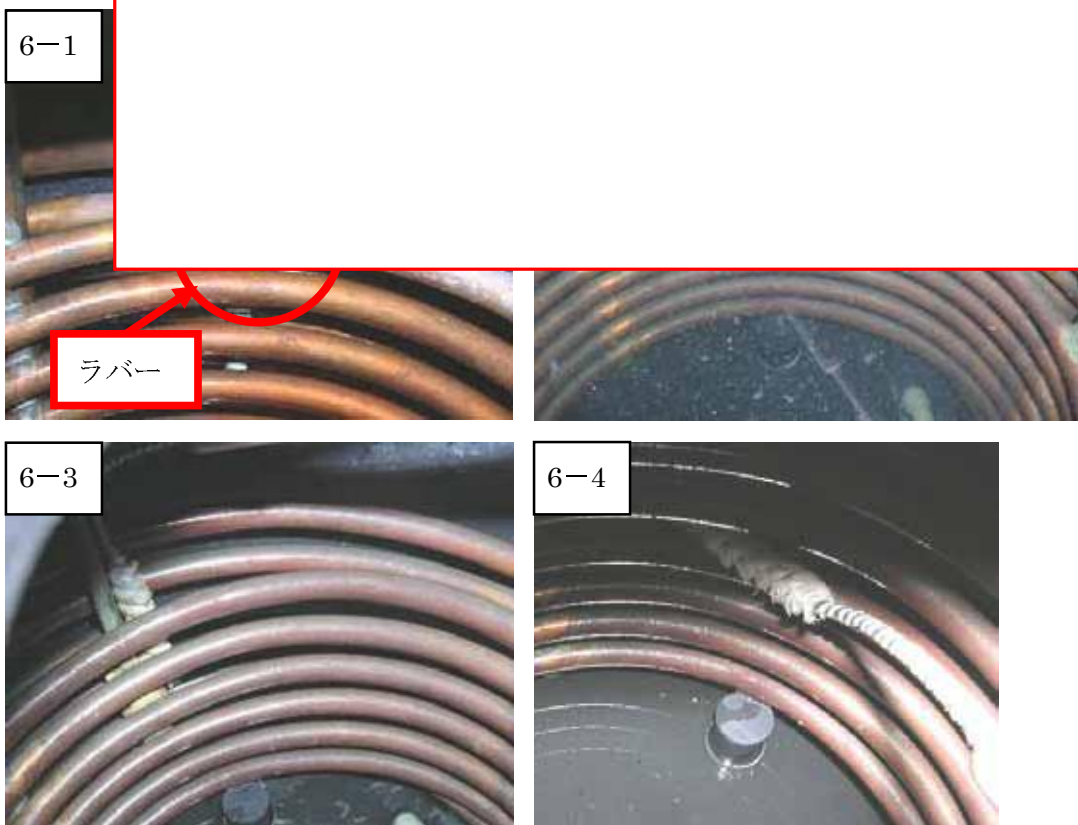
- 1) コールドタンクプローブ挿入用配管ラバー（写真 6-1 丸印）を洗浄する。

タンクのエバポレータが隠れる程度水を入れる。その際、直接ラバーに掛かる様にするが良い。②のブラシを適度に曲げラバー表面の劣化している部分を取り除く。

（写真 6-1～6-4 参照）

- ※ その
- ぎる
- ※ ラバ
- もし
- パー
- P/N
- ※ この

見本



続きは、講習会でご確認下さい。